

## 「未来医療研究人材養成拠点形成事業」における工程表

申請担当大学名	九州大学
連携大学名	福岡大学、久留米大学、産業医科大学
事業名	イノベーションを推進する国際的人材の育成

### ① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	<p>本事業では、九州・久留米・福岡・産業医科大学へ大学間双方向性テレビ講義システムを導入し、4大学連携の下、医療イノベーションに強い志を有し、推進し、国際競争に勝ち抜く人材を育成する。目標達成のため、次のような取り組みを行う。</p> <p>1) 就学早期からの教育とステップアップする継続的教育：学部教育に医療イノベーション関連科目を設置、TRセンター等での実習を実施、大学院に医療イノベーションコースを設置し、社会人向けにOJTを実施する。</p> <p>2) 全工程を完備した教育プログラムと教育体制：産学官全領域において医療イノベーションを担う専門家による教育参加を実現する。</p> <p>3) 福岡県内4大学において、双方向性テレビ講義システムの導入、及び、メディカルイノベーション推進人材協議会の設置を通じて、大学間双方向性連携体制の下に教育連携体制を充実させる。</p> <p>4) 国際的視野を有する人材の育成：熾烈な競争の中で研究開発を勝ち抜く国際的視野を有する人材を育成するための外国人による英語での講義と実習を実施し、海外研究者によるセミナーを開催する。</p>

### ② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
インプット ・ プロセス (投入、 入力、 活動、 行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療イノベーション科目開始(医学科4年生20名受講)【九州大学】</li> <li>次世代医療研究開発講座を設置【九州大学】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療イノベーション科目25名受講</li> <li>医療イノベーションコース新規受入れ：6名(大学院生)【九州大学】</li> <li>『医療イノベーション学実習』開始(医学科生100名)【九州大学】</li> <li>医療イノベーションインテンシブコース新規受入れ：6名(うち、医師2名、大学院生2名、他2名)【福岡大学】</li> <li>メディカルイノベーションコース新規受入れ：10名(大学院生)【久留米大学】</li> <li>臨床試験認定登録医コース(インテンシブ)新規受入れ：70名(うち後期研修医50名、医師20名)【久留米大学】</li> <li>保険データ分析に基づく地域医療の未来創造コース(インテンシブ)新規受入れ：15名【産業医科大学】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療イノベーション科目30名受講</li> <li>『医療イノベーション学実習』(医学科生100名)【九州大学】</li> <li>医療イノベーションコース新規受入れ：9名(大学院生)【九州大学】</li> <li>医療イノベーションインテンシブコース新規受入れ：6名(うち、医師2名、大学院生2名、他2名)【福岡大学】</li> <li>メディカルイノベーションコース新規受入れ：10名(大学院生)【久留米大学】</li> <li>臨床試験認定登録医コース(インテンシブ)新規受入れ：70名(うち後期研修医50名、医師20名)【久留米大学】</li> <li>保険データ分析に基づく地域医療の未来創造コース(インテンシブ)新規受入れ：15名【産業医科大学】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療イノベーション科目35名受講</li> <li>『医療イノベーション学実習』(医学科生100名)【九州大学】</li> <li>医療イノベーションコース新規受入れ：12名(大学院生)【九州大学】</li> <li>医療イノベーションインテンシブコース新規受入れ：6名(うち、医師2名、大学院生2名、他2名)【福岡大学】</li> <li>メディカルイノベーションコース新規受入れ：10名(大学院生)【久留米大学】</li> <li>臨床試験認定登録医コース(インテンシブ)新規受入れ：70名(うち後期研修医50名、医師20名)【久留米大学】</li> <li>保険データ分析に基づく地域医療の未来創造コース(インテンシブ)新規受入れ：15名【産業医科大学】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療イノベーション科目40名受講</li> <li>『医療イノベーション学実習』(医学科生100名)【九州大学】</li> <li>医療イノベーションコース新規受入れ：12名(大学院生)【九州大学】</li> <li>医療イノベーションインテンシブコース新規受入れ：6名(うち、医師2名、大学院生2名、他2名)【福岡大学】</li> <li>メディカルイノベーションコース新規受入れ：10名(大学院生)【久留米大学】</li> <li>臨床試験認定登録医コース(インテンシブ)新規受入れ：70名(うち後期研修医50名、医師20名)【久留米大学】</li> <li>保険データ分析に基づく地域医療の未来創造コース(インテンシブ)新規受入れ：15名【産業医科大学】</li> </ul>
	定性的なもの		<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人教員による英語教育</li> <li>海外アカデミアとの医療イノベーション関連事項の連携体制構築に着手</li> <li>医療イノベーションに関する市民公開講座の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人教員による英語教育</li> <li>海外アカデミアとの医療イノベーション関連事項の連携体制構築作業の継続</li> <li>医療イノベーションに関する市民公開講座の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人教員による英語教育</li> <li>海外アカデミアとの医療イノベーション関連事項の連携体制構築</li> <li>医療イノベーションに関する市民公開講座の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人教員による英語教育</li> <li>海外アカデミアとの医療イノベーション関連事項の連携体制の継続</li> <li>医療イノベーションに関する市民公開講座の開催</li> </ul>

アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	・医療イノベーション科目修了者20名	・医療イノベーション科目修了者25名 ・医療イノベーションコース修了者数:6名(大学院生)【九州大学】 ・医療イノベーションインテンシブコース修了者:6名(うち、医師2名、大学院生2名、他2名)【福岡大学】 ・メディカルイノベーションコース修了者:10名(大学院生)【久留米大学】 ・臨床試験認定登録医コース(インテンシブ)修了者:70名(うち後期研修医50名、医師20名)【久留米医科大学】 ・保険データ分析に基づく地域医療の未来創造コース(インテンシブ)修了者:12名(うち大学院生2名、医師2名、医療職6名、他2名)【産業医科大学】	・医療イノベーション科目修了者30名 ・医療イノベーションコース修了者数:9名(大学院生)【九州大学】 ・医療イノベーションインテンシブコース修了者:6名(うち、医師2名、大学院生2名、他2名)【福岡大学】 ・メディカルイノベーションコース修了者:10名(大学院生)【久留米大学】 ・臨床試験認定登録医コース(インテンシブ)修了者:70名(うち後期研修医50名、医師20名)【久留米医科大学】 ・保険データ分析に基づく地域医療の未来創造コース(インテンシブ)修了者:12名(うち大学院生2名、医師2名、医療職6名、他2名)【産業医科大学】	・医療イノベーション科目修了者35名 ・医療イノベーションコース修了者数:12名(大学院生)【九州大学】 ・医療イノベーションインテンシブコース修了者:6名(うち、医師2名、大学院生2名、他2名)【福岡大学】 ・メディカルイノベーションコース修了者:10名(大学院生)【久留米大学】 ・臨床試験認定登録医コース(インテンシブ)修了者:70名(うち後期研修医50名、医師20名)【久留米医科大学】 ・保険データ分析に基づく地域医療の未来創造コース(インテンシブ)修了者:12名(うち大学院生2名、医師2名、医療職6名、他2名)【産業医科大学】	・医療イノベーション科目修了者40名 ・医療イノベーションコース修了者数:12名(大学院生)【九州大学】 ・医療イノベーションインテンシブコース修了者:6名(うち、医師2名、大学院生2名、他2名)【福岡大学】 ・メディカルイノベーションコース修了者:10名(大学院生)【久留米大学】 ・臨床試験認定登録医コース(インテンシブ)修了者:70名(うち後期研修医50名、医師20名)【久留米医科大学】 ・保険データ分析に基づく地域医療の未来創造コース(インテンシブ)修了者:12名(うち大学院生2名、医師2名、医療職6名、他2名)【産業医科大学】
	定性的なもの		海外アカデミアとの医療イノベーション関連事業の連携体制構築	海外アカデミアとの医療イノベーション関連事業の連携体制構築	海外アカデミアとの医療イノベーション関連事項の連携体制構築	海外アカデミアとの医療イノベーション関連事項の連携体制構築
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの		・福岡県内大学における医師主導治験開始数2件	・福岡県内大学における医師主導治験開始数2件	・福岡県内大学における医師主導治験開始数3件	・福岡県内大学における医師主導治験開始数4件
	定性的なもの		・福岡県内大学における企業主導治験受託数増加	・福岡県内大学における企業主導治験受託数増加 ・福岡県内大学におけるメディカルイノベーション関連特許出願数増加	・福岡県内大学における企業主導治験受託数増加 ・福岡県内大学におけるメディカルイノベーション関連特許出願数増加	・福岡県内大学における企業主導治験受託数増加 ・福岡県内大学におけるメディカルイノベーション関連特許出願数増加 ・海外での医療イノベーション関連業務に携わる人材の誕生

### ③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	医療のパラダイムシフトの契機となるよう、従来の固定観念にとらわれない新たな発想で事業を実行すること。	従来、福岡県内の4大学が連携した講義システムはない。本事業では、大学間双方向性テレビ講義システムを導入するa事により、4大学間における“知の共有”が可能になる。更に、九州大学大学院では新講座、次世代医療研究開発講座を設置し、3名の外国人教員、及び国外で修士を取得した教員1名を採用した。英語での講義と実習を実施する事で、4大学間において国際的視野を有する人材を効果的に育成する。産業医科大学ではこれまでレセプト情報を用いたビッグデータの構築を行っており、今後の医療イノベーションの実現のためにはこの医療ビッグデータの活用が不可欠ととらえている。そのためには各レベル(大学、一般病院、保険者等)でデータを活用できる人材開発が不可欠であり、この新たな時代の医療イノベーションに必要とされる多様性のある人材育成を本事業にて行う。
②	事業期間中のアウトプット、アウトカムを年度ごとに明確にし、達成状況の工程管理を行うこと。	本事業推進のため、4大学において、医療イノベーション推進人材育成協議会を設置し、プロジェクト全体の進捗管理を行う。本年度導入する「双方向性テレビ講義システム」を活用して、必要に応じて会議を随時実施することを予定している。また、年度毎の計画に評価項目を入れ、定期的に工程管理を行う。
③	事業の実施にあたっては、一部の教員や一部の組織のみで実施するのではなく、学長・学部長等のリーダーシップのもと、全学的な実施体制で行うこと。また、事業の責任体制を明確にすること。	“未来医療研究人材養成拠点形成事業の実施に関する協定書”を作成し、久留米大学大学院医学研究科長、産業医科大学長、福岡大学副学長、九州大学大学院医学研究院長、計4大学医学部の代表者が捺印し、協定を締結した。4大学において医療イノベーション推進人材育成協議会を設置し、4大学より協議会委員を選出すると共に、事業推進責任者を九州大学・中野洋一とする事で、本事業の運営・責任体制を明確にした。また、九州大学においては、本部及び医学研究院教授会の承認の下、新講座である次世代医療研究開発講座を設置した。
④	事業期間終了後も各大学において事業を継続されることを念頭に、具体的な補助期間終了後の事業継続の方針・考え方について検討すること。	本事業において導入する双方向性テレビ講義システムを継続活用し、4大学間における“知の共有”を継続する。また、九州大学においては、事業機関終了後も大学院医学研究院次世代医療研究開発講座が講義を継続する予定である。産業医科大学においても本事業によって開始される医療ビッグデータに関する教育カリキュラムを事業終了時点での社会の課題とニーズに即した形で継続する予定である。
⑤	成果や効果は可能な限り可視化したうえで社会に対して分かりやすく情報発信すること。また、他大学の参考となるよう、特色ある先進的な取組やモデルとなる取組について、導入に至る経緯や実現するためのノウハウ、留意点、ポイント等についても情報発信すること。	4大学の成果や効果に関しては、九州大学大学院医学研究院次世代医療研究開発講座のwebsiteを通じて、情報発信する。また、市民公開講座を通して医療イノベーションの現状と意義を啓発する。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(改善を要する点、留意事項)	対応方針
4大学で連携をし、各々の個性と強みを活かした相乗効果体制は優れているが、大学間の教育水準の調整にはフォローが必要と考える。	本事業推進のため、4大学において、医療イノベーション推進人材育成協議会を設置し、プロジェクト全体の意思決定と連携調整および左記のフォロー等を行う。 なお、標記協議会は、原則として毎月定期的を実施するとともに、本年度導入する「テレビ講義システム」を活用して、必要に応じ随時実施することを予定している。
教育対象が、4大学で医学部2-5年次生、大学院生、研修医や、医学研究科、薬学研究科、スポーツ健康科学研究科、または、スポーツ健康運動指導士などと一貫しておらず、大学での連携に不整合性が見受けられることから、共同事業としての事業の実施、達成状況等の進捗管理が求められる。	上記、医療イノベーション推進人材育成協議会において、達成状況等の進捗管理を行う。また、それぞれの大学特有のプログラムが双方向テレビ講義システム等を通して他大学へ提供できるよう配慮する。
インテンシブコースは全体的に受講者にとってかなりの過重負担ではないかと思われるため、効率良い研修制度に練り直す必要があるのではないか。	九州大学においては、当初社会人向けのインテンシブコースを設置する予定だったが、当面はOJTを中心に社会人が参加しやすい講習を設定する。今後、本コース設置に関しては、医療イノベーション推進人材育成協議会で協議する。また、産業医科大学においては、インテンシブコースを3ヶ月から1ヶ月へ短縮し、期間短縮に伴い単位数を減らす事で過重負担を解消する予定である。同対応に呼応する形で産業医科大学は受け入れ目標人数を増加させ事業効果の最大化を図る。
「医療イノベーションインテンシブコース」の修了要件・履修方法について、必修科目は必ず履修する科目であることから、「必修科目2単位以上を履修し」という記載は不適切であるため、適切な修正を行うこと。	記載に誤りがございました。履修科目は、必修科目ではなく、選択必修科目です。従いまして、修了要件は「選択必修科目のうち、2単位以上を履修し、試験に合格すること。」となります。 なお、上記につきましては、所定の変更手続きを行います。